



利賀の水音



vol.44

2025.3
発 刊

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会

1. はじめに	P. 1
2. 建設業界の担い手育成・地域活性化に向けて	P. 2
3. 安全対策協議会の活動	P. 6
4. 工事日より —令和6年度 下半期—	P. 9
5. トピックス	P. 23
6. あとがき	P. 30

表紙写真（上）：利賀大橋の版画（R6. 8. 26親子見学会に参加した南砺市立福光中部小学校5年 中田浩翔さんの作品）
表紙写真（下）：R7. 2. 25 利賀村上百瀬地区の積雪状況

1.はじめに

2月上旬ある日の明け方、布団にくるまって寝ていたところ、唸るエンジン音で目が覚めました。あまりに響くその音に「朝早くから何だろう？」と思い、抜け出したい布団を抜け出して窓から外を見てみると・・・、もうお気づきになったかもしれませんが、そうです。除雪車です。町内の路地や付近の駐車場の除雪作業に一生懸命当たっておられました。



この頃、冬一番の強い寒気が流れ込んで強い冬型の気圧配置となり、普段は雪をみることのない鹿児島でも積雪が観測されました。もちろん雪国富山も大雪となり、道路の通行止め、鉄道運休、スリップ事故など交通への影響がニュースとなりました。

「まだ夜中でみんなが寝ている頃なのに、しかもこんなに寒い中、ありがたいな」と、しばらく作業の様子を見ていると、あることに気づきます。その除雪車のなんとも見事な動き方です。

私が住む宿舎の周りは、路地が複雑に入り組み、ちょうど交差しているところもあって少し複雑な形をしています。また、そのすぐ脇に隣接して駐車場があります。（駐車場は、近くの会社に勤める方々が利用されているようで、夜間に車は止まっておらず、除雪作業に支障となりません。）

まず、この非常にやりづらそうな路地を、大きな除雪車がまるでラリーカーのように鮮やかに切り回り、しかも一筆書きの要領で効率的に雪をどかしていました。次に、駐車場では作業上の制約がないのか、まるで大相撲力士が相手を正面押し出しするがごとく、力強く雪を押しやっていました。この繊細かつ大胆な動きに「プロの仕事だな」と感嘆を覚え、眠気は一瞬にして消え去りました。

一通りの除雪作業が終了したようで、その除雪車は次の場所へ移動しようと、引き続き路地を除雪しながら離れていきます。見送っていると、再びその動きに感動のシーンがありました。なるべく住居の前には雪を押しやらないよう、邪魔にならないその反対側、反対側へと交互に押し分けて進んで行くのです。住人が朝起きて玄関前の除雪をする手間を減らしてあげよう、との心配りなのでしょう。「心優しい本当のプロだ」とあらためて感謝しつつ、冷えた体を再び布団に潜り込ませました。

暮らしを支えるインフラを守る、命を守るインフラを造るという実践を垣間見たことと、人知れず、その作業に従事する方たちの努力によって、何気なくも大切な日常があることを是非知ってもらいたく、本稿を書いた次第です。お読みになられて、除雪作業に従事する方たちを見かけましたら、心の中で結構ですので、同じく感謝の気持ちを持っていただければ幸いです。

利賀ダム安全対策協議会会長 大角 一浩

2.建設業界の担い手育成・地域活性化に向けて

将来の担い手となる高校生・大学生や先生方に出前講座や現場見学を通じて
建設業（ダム事業）に対するやりがいを「見て・聞いて・触れて」実感!!

7/4

羽咋工業高校
建設・デザイン科 土木コースの皆様

令和6年7月4日（木）に羽咋工業高校 建設・デザイン科 土木コースの生徒、先生14名が工事現場を見学しました。

当日は、DXルームや利賀ダム転流工事を見学していただきました。



7/5

富山県立大学
環境・社会基盤工学科（1年生）の皆様

令和6年7月5日（金）に富山県立大学 環境・社会基盤工学科1年生、先生約40名が工事現場を見学しました。

当日は、DXルームや利賀トンネル（2工区）工事や利賀ダム転流工事を見学していただきました。



7/19

金沢工業大学
環境土木工学（1年生）の皆様

令和6年7月19日（金）に金沢工業大学 環境土木工学1年生60名をはじめ4年生、大学院生、先生約70名が工事現場を見学しました。

当日は、DXルームや利賀ダム転流工事を見学していただきました。



8/30

南砺福野高校
農業環境科（1年生・3年生）の皆様

令和6年8月30日（金）に南砺福野高校 農業環境科の1年生・3年生の生徒、先生約40名が工事現場を見学しました。

当日は、ダムサイト予定地や仮橋架設工事、北豆谷地区進入路その3工事を見学していただきました。

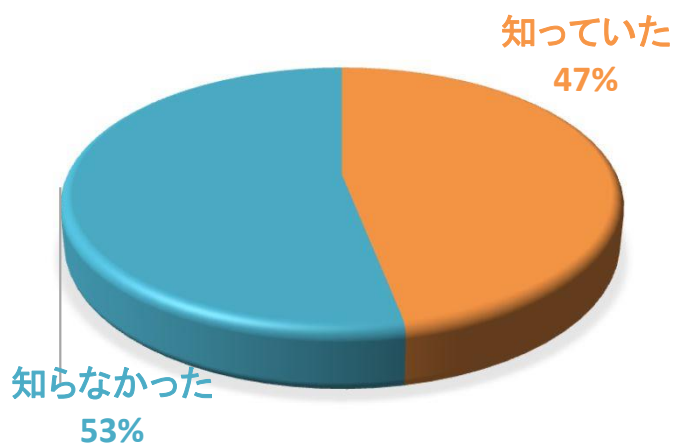


R6利賀ダム現場見学

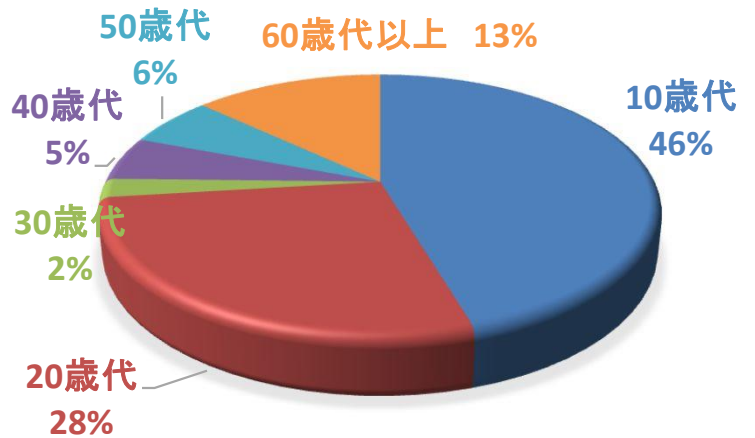
アンケート（抜粋）

2025.1末現在

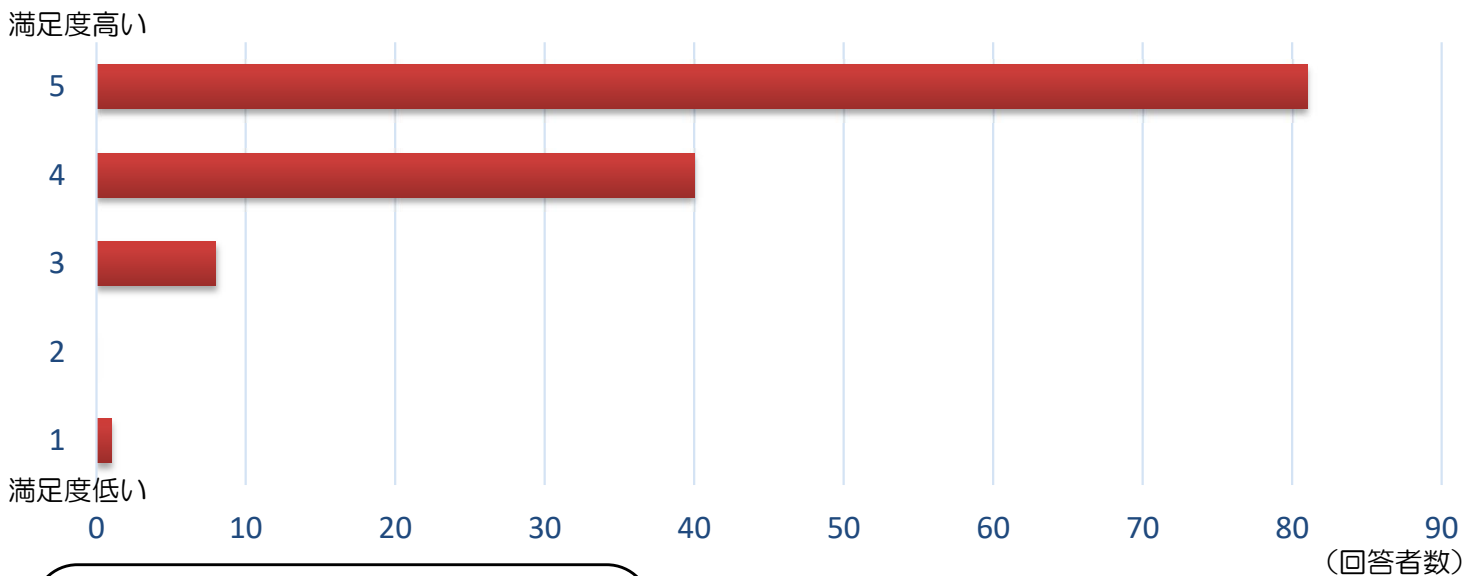
利賀ダム建設事業について



年代



現場見学の満足度



満足度評価の理由

回答が多い順

- ① 説明が丁寧・わかりやすい
- ② 普段見られない現場を見られたから
- ③ VRを使い今後の進捗がわかりやすい
- ④ 大規模な事業の実際の現場を経験できた
- ⑤ ダム建設への理解が深まった
- ⑥ 建設業への理解が深まった
- ⑦ 土木技術の大事さを知ることができた
- ⑧ 天候に負けず仕事をされる事業者の方々の努力が感じられた
- ⑨ 女性も活躍できることを知ることができた
- ⑩ 移動時間に比べ説明時間が少ない



今年度も
たくさんの方
にお越しいた
きました



“新そば祭り in TOGA” に利賀ダム紹介ブースを出展！
水源地域ビジョンにつなげるための利賀ダムの利活用アンケートを実施！！

10/26
27

新そば祭り in TOGA

令和6年10月26日(土)、27日(日)に利賀国際キャンプ場周辺にて開催された“新そば祭り in TOGA”に利賀ダム紹介ブースを出展しました。

利賀ダム工事事務所は、金沢大学にも協力いただき、利賀ダム事業を紹介したパネル展示や水源地域ビジョンにつなげるための利賀ダムの利活用アンケートブースを出展し、イベント参加者の方々に利賀ダム事業を広く知ってもらうことができました。

利賀ダムイベントブース



パネル展示

利賀ダムの事業について紹介したパネルを展示



VRゴーグルダム体験

利賀ダムの完成時の姿をVRで体験



顔出しパネル

田中南砺市長と
新そばまつり実行委員会 野原会長
にもご利用いただきました



こども環境学習コーナー

金沢大学の学生さんも大活躍



アンケートコーナー

多くの方に回答していただくため、金沢大学 坂本先生ご提案のガチャガチャを景品にしてアンケートを行いました。



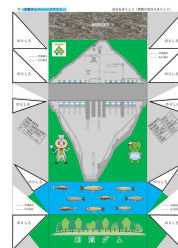
景品は貫通石や職員が作成したダムカードを模したキーホルダーやペーパークラフトを用意したよ



トムはかせ



キーホルダー



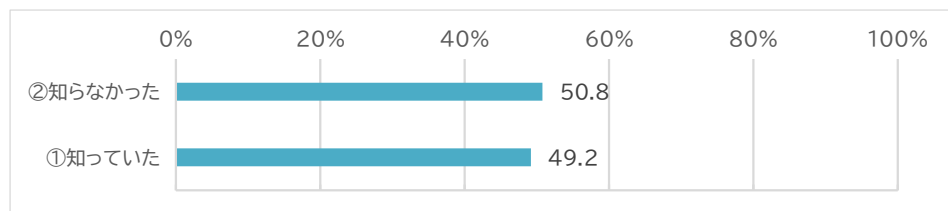
ペーパークラフト

新そばまつり in TOGA 利活用アンケート（抜粋）

調査対象	新そばをう祭り in TOGA 参加者
調査時期	令和6年10月26日（土）、27日（日）
調査方法	Googleアンケートおよび現地配布・現地回収
回収数	①紙：22部 ②Googleフォーム：282部 合計：304部

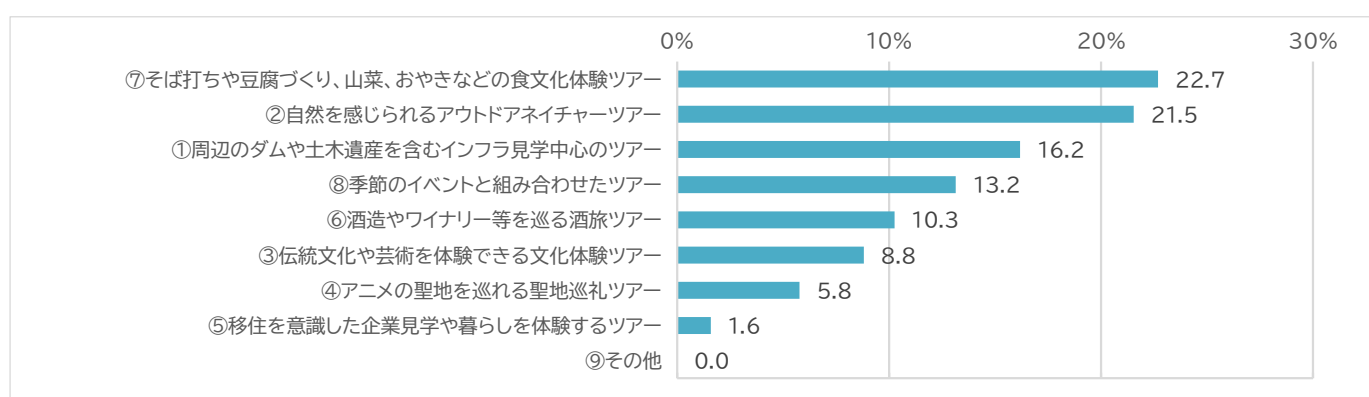


利賀ダム建設事業の認知度

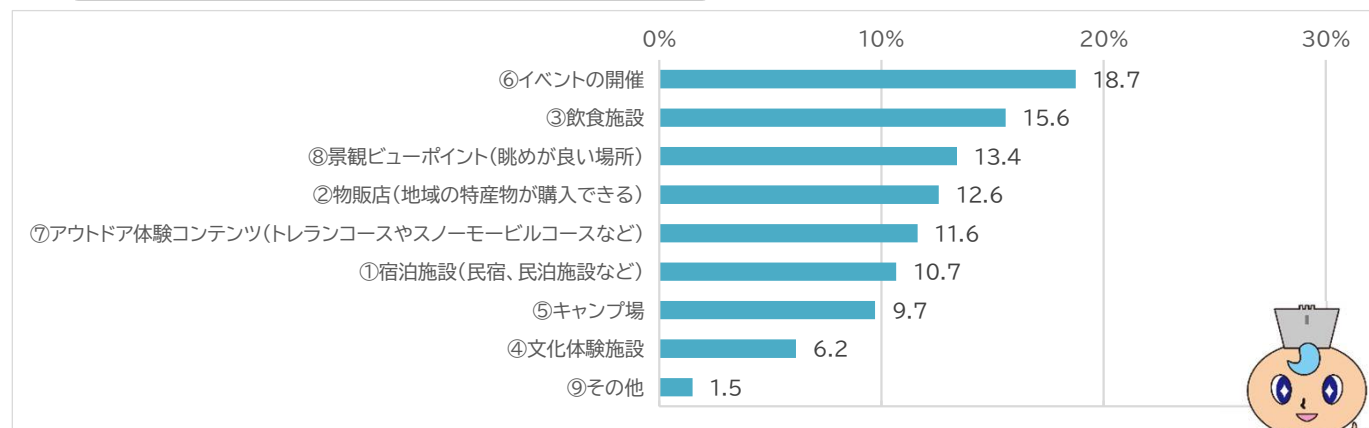


利賀ダムの工事中
や完成後の利活用
についてのアン
ケート調査を実施
しました

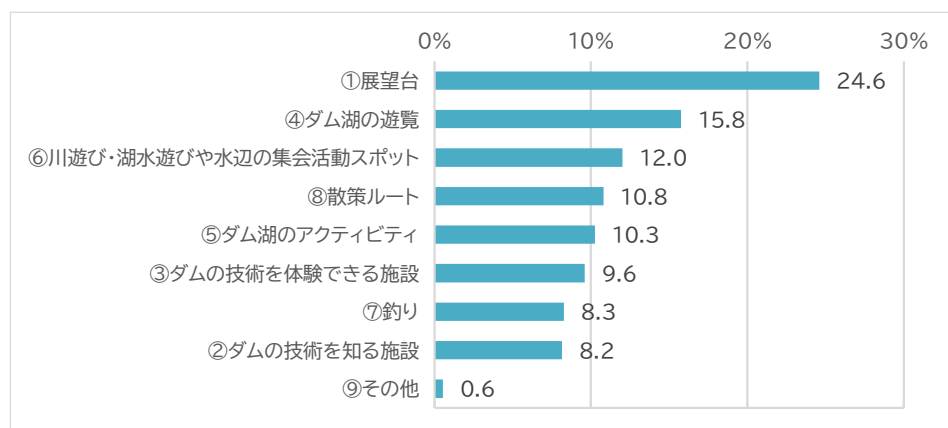
ダム工事見学に組み込まれればいいツアー



利賀地域のまちづくりで希望するもの



ダム完成時に期待する利活用施設



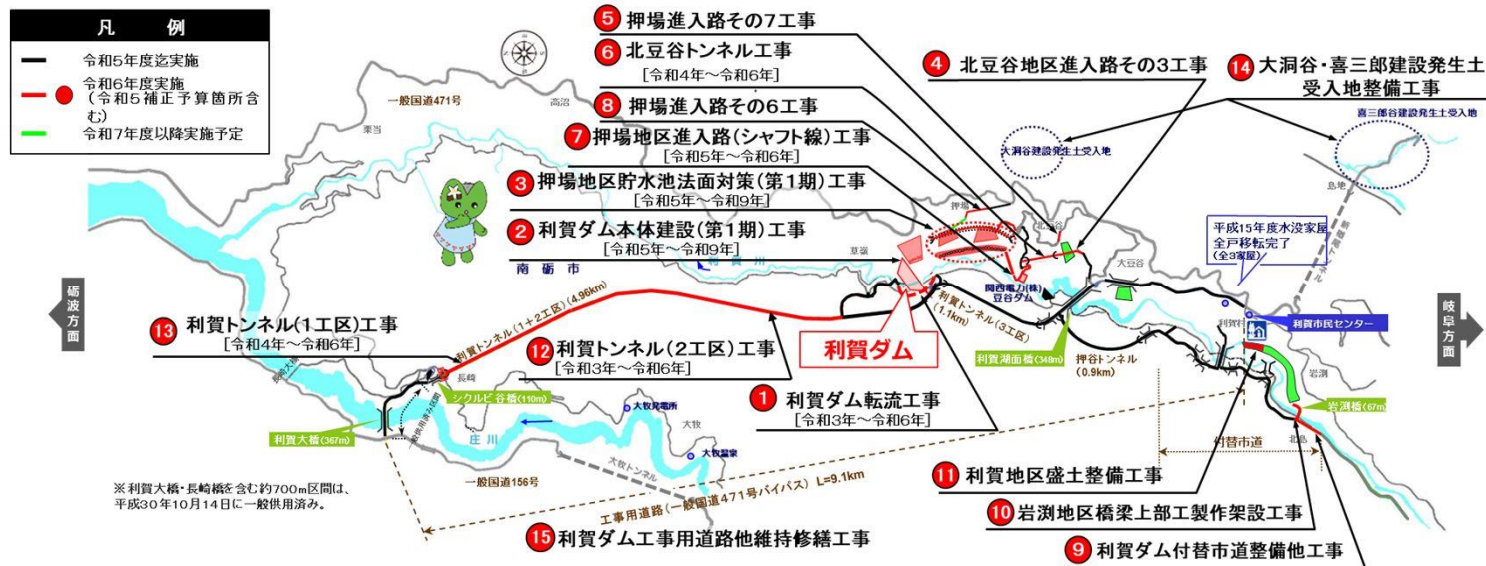
300件以上のアン
ケートが回収で
きました
アンケートにご回
答いただいた方々、
ありがとうございました

3. 安全対策協議会の活動

安全対策協議会では、労働災害・事故等の未然防止を目的として、事務所職員および受注者等の関係者で月1回程度、管内の現場パトロールを実施しています。

今年度の安全パトロールは5回実施しました。指摘・推奨事項を意見交換で発表し、工事関係者全員で情報を共有できるようにしています。

令和6年度 工事概要



※「① 利賀ダム転流工事」は令和6年7月に完成。

実施日		対象工事	施工者	参加者数 (名)	備考
第1回	R6. 7. 24 (水)	⑦ 押場地区進入路 (シャフト線) 工事	(株) 加賀田組	34	
		⑥ 北豆谷トンネル工事	五洋建設(株)		
第2回	R6. 8. 27 (火)	② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【大洞谷建設発生土受入地】	清水・鴻池JV	39	
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【地盤変動域】			
第3回	R6. 10. 2 (水)	⑭ 令和5年度大洞谷・喜三郎建設発生土受入地整備工事【喜三郎谷】	砺波工業(株)	43	
		④ 令和6年度北豆谷進入路その3工事	(株) 岡部		
		⑪ 令和6年度利賀地区盛土整備工事	(株) 藤井組		
第4回	R6. 10. 31 (木)	② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【赤松谷】	清水・鴻池JV	46	砺波労働基準監督署合同
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【下島骨材置き場】			
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【大洞谷建設発生土受入地】			
		② 利賀ダム本体建設 (第1期) 工事 【地盤変動域】			
第5回	R6. 11. 28 (木)	③ 押場地区貯水池法面对策 (第1期) 工事	大成・東急・岩田地崎JV	42	
		⑫ 利賀トンネル (2工区) 工事	大成建設(株)		



皆さんの厳しいチェックで現場をみてもらって、
より安全に施工ができるようにアドバイスを
もらいました！

工事を安全に進める
ためには重要なパト
ロールだね！



安全パトロールの様子

② 利賀ダム本体建設（第Ⅰ期）工事



第4回安全パトロール（R6. 10. 31）

② 利賀ダム本体建設（第Ⅰ期）工事
【赤松谷】



第4回安全パトロール（R6. 10. 31）

② 利賀ダム本体建設（第Ⅰ期）工事
【下島骨材置場】



第4回安全パトロール（R6. 10. 31）

③ 押場地区貯水池法面对策（第Ⅰ期）工事



第5回安全パトロール（R6. 11. 28）

③ 押場地区貯水池法面对策（第Ⅰ期）工事



第5回安全パトロール（R6. 11. 28）

⑫ 利賀トンネル（2工区）工事



第5回安全パトロール（R6. 11. 28）

『ダム建設現場の安全施工技術の向上をめざして』 利賀ダム工事事務所 安全施工研究発表会を開催

この発表会は、「安全施工技術の向上に関する調査研究」を行うことにより協議会の目的である「工事等の安全施工、建設労働者の安全衛生の確保及び第三者に対する安全を確保し、工事等の円滑な遂行に寄与する」ことを達成するため毎年開催しているもので、今回で18回目の開催となります。応募された12編の論文の中から予備審査を通過した6編について発表していただき、特に優れた安全施工技術について表彰しました。いずれの報文も、現場の課題を的確に捉え、それを解決するための工夫、取り組みが報告されており、他現場においても参考になる発表会となりました。



開催日：令和7年2月27日（木）
会 場：利賀ダム工事事務所
論文発表及び質疑応答（全6編）



開会挨拶
安全対策協議会 会長



講 評
安全対策協議会 幹事長



閉会挨拶
安全対策協議会 副会長

発表会の様子

最優秀賞

「QR コードを使用した持込機械管理システム導入による生産性向上（省力化）について」

大成・東急・岩田地崎特定建設工事 共同企業体
柳田 眞祐 氏

優秀賞

「仮栈橋の施工における創意工夫について」

株式会社 岡部 原田 隼輔 氏

「現場の安全確保と効率化について」

砺波工業 株式会社 小林 稜典 氏



表彰者の記念撮影

4.工事だより — 令和6年度 下半期 —

工事だよりは、各現場からの投稿です。

利賀トンネル（2工区）工事

【工期】令和4年3月12日～令和8年3月13日

継続



大成建設株式会社

工事概要



監理技術者
下野 正人

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、中間部（L=2,394.7m）を施工する工事です。

現在、令和5年1月からトンネル掘削を、令和5年7月から覆工を開始しております。

トンネル延長

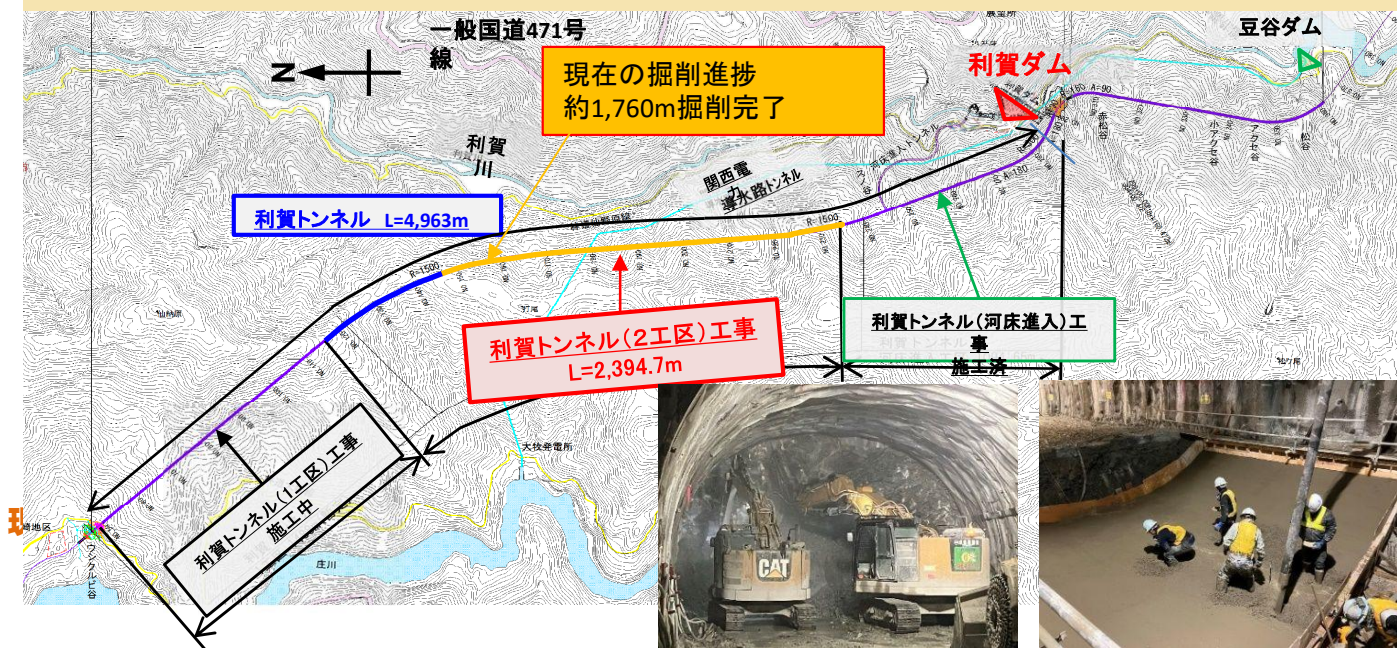
利賀トンネル
／2,394.7m（全長4,963m）

掘削断面積

55.8㎡
（支保パターンC I断面 設計）
NATM工法（発破掘削）

工
そ
の
他

現場平面図



トンネル掘削状況

インバート打設状況

安全対策

本工事では、照明設備を用いて安全看板を路面上に明示しています。トンネル内は、昼間においても若干暗いため照明設備は非常に目立ちます。この特性を生かして、路面上に安全喚起の看板を明示することで運転手への注意を促しています。また、この看板は一定時間で切り替わり変化を設けることで、慣れによる気のゆるみを防止しています。



地域貢献

令和7年2月1日に開催された「上村そば祭り」に参加しました。そば粉を卵と水で練って玉を作り、手のひらとのかき棒を用いて広げていく方法を、地元の方々に教わりながら、教わった方法を更に他の人に教えながら楽しくそば打ちを行うことが出来ました。また自分で打ったそばをすぐに食べることが出来て美味しさを一段と覚えることが出来ました。

今後も地域の行事に積極的に参加したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。



利賀トンネル（1工区）工事

【工期】令和5年3月8日～令和8年2月27日



清水建設株式会社

継続



現場代理人
福嶋 幸治

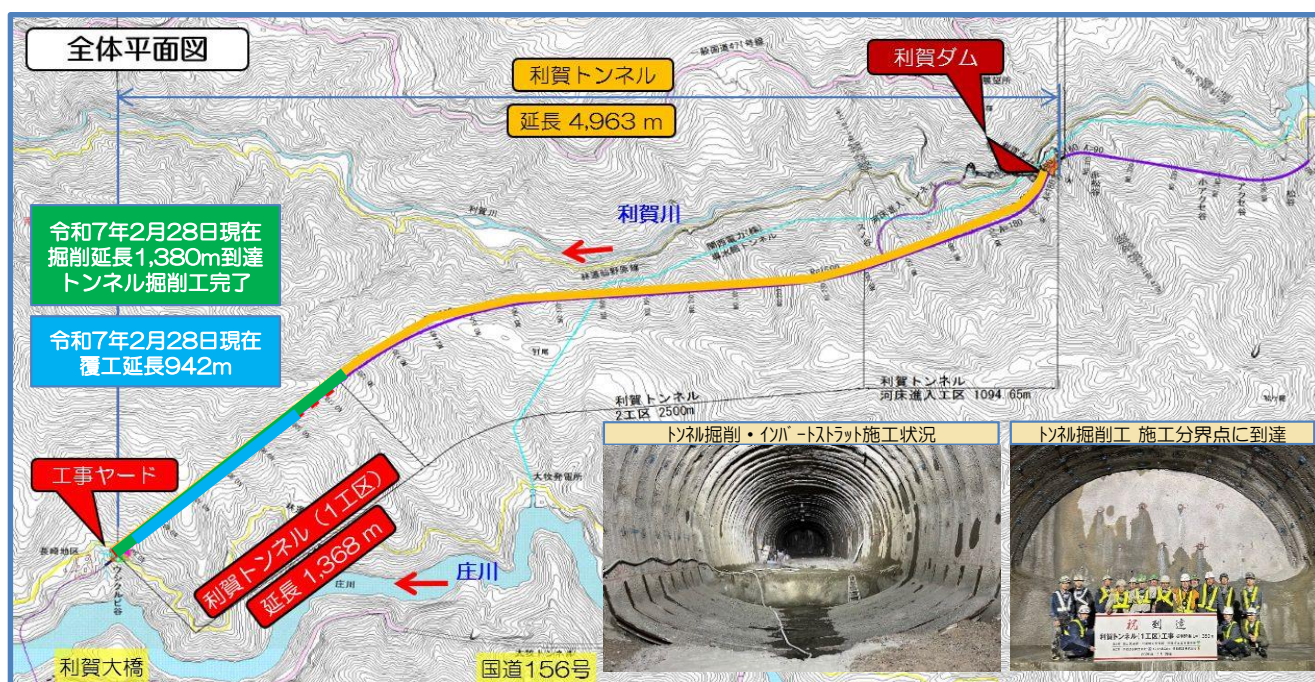
工事概要

本工事は、利賀ダム工事の工事用道路トンネルとして施工している利賀トンネル（全長4,963m、3分割発注）のうち、起点側（L=1,368m）を施工する工事です。

令和5年8月末からトンネル掘削を開始、令和6年2月末より覆工コンクリート工を開始し、令和7年2月末にトンネル掘削は施工分界点のL=1,380mに到達、覆工コンクリート工はL=942mまで施工が完了しております。

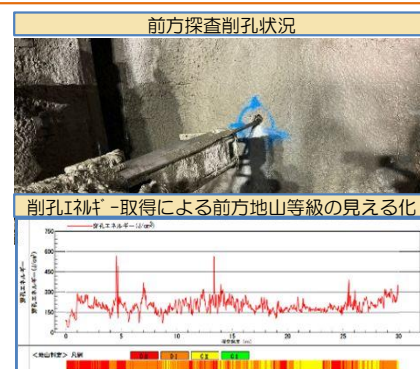
トンネル延長	利賀トンネル ／1,368m(全長4,963m)
掘削断面積	57.7㎡ (支保パターンCⅡ-b断面 設計)
工法	NATM工法（機械/発破掘削）

現場の状況



安全対策

利賀トンネルは全線において地山が良好と予測されていましたが、実際に掘り進めると土被りが370m以上の最大となる区間において、大きな土圧に対して地山の強度が不足して切羽の崩落・支保工の変状が発生しました。そのため、これから掘り進める前方の地山状況を事前に把握して適切な支保工設計と切羽作業の安全性向上を図るため、ドリルジャンボを用いた前方探査システムにより削孔エネルギーの把握と地山等級の事前予測を行い、適切な支保工の採用と切羽作業の安全を確保しました。



地域貢献

本工事の施工ヤードが位置する南砺市利賀村長崎地区は豪雪地帯であり、寒波継続により地域の方々の日常生活に困難が生じる程の積雪が発生する時がありました。トンネル工事の関係者を温かく受け入れて下さり、昼夜間のトンネル発破掘削作業へ最大限のご理解を下さっている地域の方々に少しでも貢献できるよう、必要に応じて自宅周辺の除雪支援を行っております。引続き周辺地域の皆様の声に耳を傾け、周辺地域環境保全に努めてまいります。



北豆谷トンネル工事

【工期】令和5年2月10日～令和7年1月27日



五洋建設株式会社



監理技術者
本間 宏記

工事概要

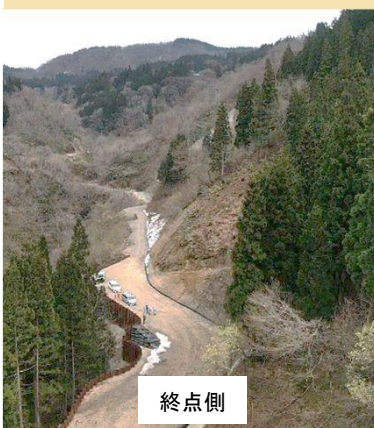
本工事は、利賀ダム貯水池斜面对策の施工のために必要な工事用道路の一部となるトンネルと仮栈橋を構築するものです。

北豆谷トンネルは令和5年8月に着手した後、冬期間の現場休止を経て令和6年5月に貫通し、同年9月にトンネル本体の施工を終えました。その後、仮橋・仮栈橋架設工を施工し、令和7年1月に全ての工事が無事完成しました。

トンネル延長	342.0m
掘削断面積	41.6㎡ (支保パターンCⅡ 設計)
トンネル工法	山岳工法（NATM工法）
掘削方式	発破掘削方式
掘削工法	全断面掘削工法
その他	インバート工 35.0m 坑口付工 1式 道路土工 1式 仮橋・仮栈橋架設工 29.5m

現場の完成状況

施工前



施工後



終点側坑口



(起点側)仮栈橋



工事の工夫点

トンネル仮設備を設置する林道下山線沿いの坑口ヤードは、非常に狭隘、かつ、急勾配で厳しい現場条件でした。仮設備の配置にあたっては施工機械や車両の動線を考慮し、仮設備を集約配置して省スペース化を図りました。具体的には、傾斜地に設置する仮設備の基礎部を階段状に築造するほか、山留材を用いて3階建て構造の架台を構築して電気設備（発動発電機）と送風機を設置しました。



工事完成の挨拶

この度、令和5年4月から令和7年1月までの約1年10箇月にわたる本工事が無事完了しました。点在する仮設備ヤードと複数箇所への残土運搬のため、残土運搬ダンプをはじめ多くの工事用車両が国道471号や市道北豆谷線、大豆谷線を通行し、地域住民の皆様にはご迷惑をお掛けしました。このような状況下で工事を完成できましたのは、皆様方のおかげと思っております。本工事に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

令和5年度押場地区進入路(シャフト線)工事

完 成

【工期】 令和5年6月13日～令和6年11月29日



株式会社加賀田組



現場代理人
樋口 誠矢

工事概要

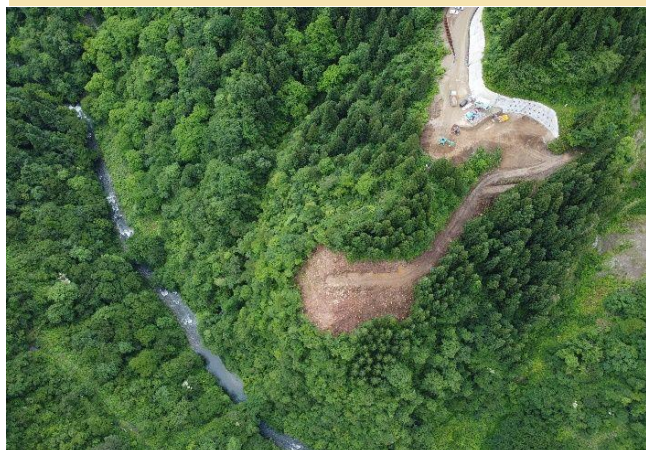
本工事は、利賀ダム貯水池法面对策の工事用道路として仮栈橋を構築する工事です。

施工箇所は非常に急峻な地形であることから仮栈橋は工場製作によりパネル化された上部工を先行して架設した後、支柱杭となる鋼管杭を打設する「SqCピア工法」による施工を行います。令和6年7月より本格的に仮栈橋の施工に着手し令和6年11月中旬に全ての工事が無事完了致しました。

道 路 土 工	掘削工／760m3 法面整形工／1式
仮 橋 ・ 仮 栈 橋	仮橋・仮栈橋工／1式
架 設 工	SqCピア工法 L=54.8m 仮設構台拡幅 216m2
仮 設 工	工事用道路工／1式
伐 採 工	伐採工／1式

現場の完成状況

施工前



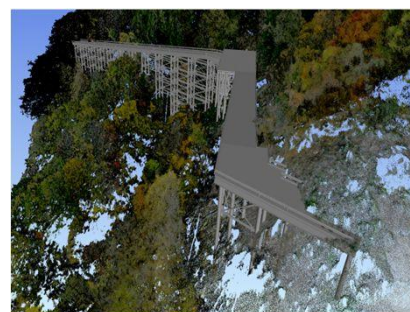
施工後



工事の工夫点

本工事はBIM/CIM活用工事であり、仮栈橋施工の着手に際して3次元モデルを作成し、施工計画の検討補助、現場条件の確認を行うことで安全性や生産性の向上が図ることができ、また、経験の浅い作業員から熟練作業員においても現場のイメージの理解度の促進を図ることができた。

特に、右図のように伐採後の樹木と仮栈橋の干渉を確認する場合、現地は急峻で確認を行うのに困難であったが3次元モデルにより安全にかつあらゆる角度からの確認を行うことができた。



工事完成の挨拶

令和5年9月頃より樹木伐採の工事に着手し、令和6年11月中旬に全ての工事が完了致しました。急峻で狭隘な厳しい現場条件ではありましたが、無事に無事故・無災害で現場を完成させることができました。施工中につきましては仮栈橋材料である鋼材などの搬入出によりご迷惑をおかけすることもありましたが、地域の皆様方のご理解・ご協力のおかげだと思っております。短い期間ではありましたが、誠に有り難うございました。

利賀ダム本体建設（第1期）工事

【工期】令和6年3月5日～令和10年2月28日

清水・鴻池特定建設工事共同企業体



現場代理人
鹿田 朋義

工事概要

本工事は、一級河川庄川の右支川である利賀川において建設を進めている多目的ダムで、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水の供給を目的としています。

ダムの形式は重力式コンクリートダムです。

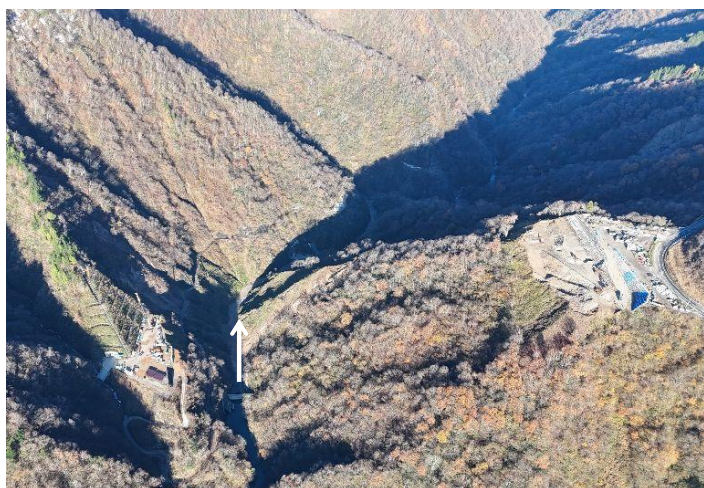
令和6年5月に工事を着手し、令和7年度末までの2年で堤体基礎掘削、右岸地盤変動域対策工、ダム施工設備の設置等を行い、令和8年度からコンクリートを打設する予定です。

冬期間の現在は、主に施工設備基礎等の施工を行っています。

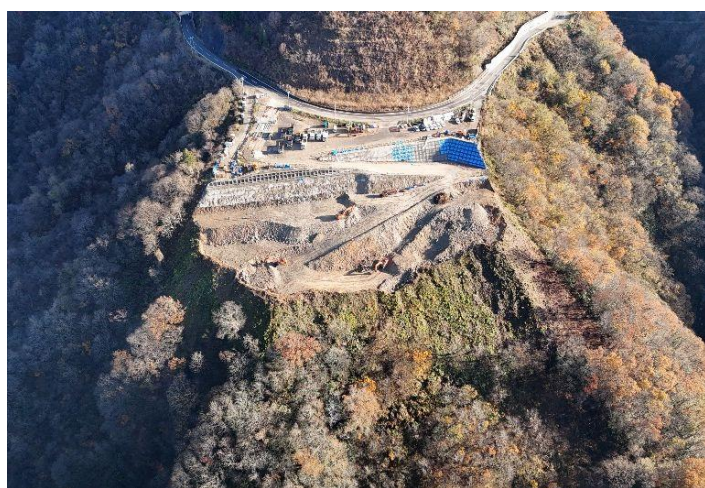
ダム諸元	堤体積／約50万m ³ 堤高／112m 堤頂長／255m
施工数量	ダム土工／約20万m ³ 右岸地盤変動域対策工／約100万m ³
工法	RCD工法

現場の状況

ダムサイトの現地状況（12月初旬）



右岸地盤変動域対策工の現地状況（12月初旬）



安全対策

令和6、7年度は右岸地盤変動域の掘削に伴い残土搬出を行います。一般国道を使用するの運搬となりますので、出入口部に交通誘導員の配置、車両感知センサーの設置、タイヤ洗浄設備の設置、車両はかりの設置、明示看板の設置等の安全対策を実施しました。また、散水車による道路散水、スィーパーによる道路清掃もこまめに行い、地元の皆様に極力ご迷惑をおかけしないように進めてまいりますので、今後とも、ご指導よろしくお願いいたします。



地域貢献

「利賀地域職域対抗ソフトボール大会（9月）」「第2回新そば祭りinTOGA」（10月）」に参加させていただきました。利賀地域が更に盛り上がるようにイベントには積極的に参加、協力させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。



押場地区貯水池法面对策（第1期）工事

【工期】令和6年3月7日～令和10年2月29日

大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体



現場代理人
我妻 敏昭

工事概要

本工事は、一級河川庄川水系利賀川に建設される利賀ダム(多目的ダム)の貯水池部における法面对策工事(押場地区)です。

地下水位を下げる横ボーリング工、排水トンネル工、滑動力を低減させる排土工・深礎工・アンカー工により湛水後における貯水池法面の安全性を向上させる工事です。

工事は、2024度に横ボーリング工が完了し、仮設栈橋工の一部を施工しました。2025度は排土工、仮設栈橋工、アンカー工を4月以降開始する予定です。

第1期工事

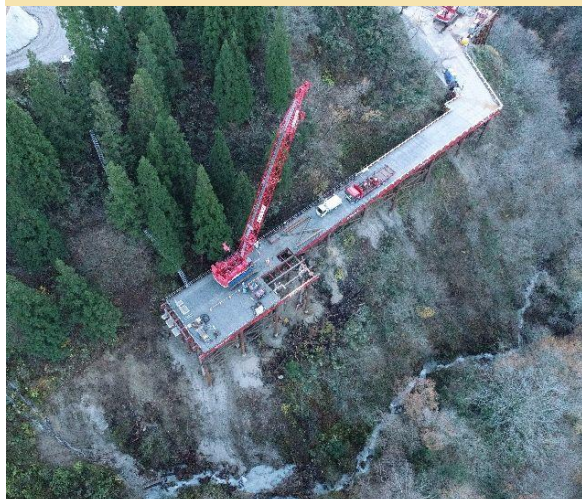
排土工	26万m ³
深礎工	深礎工/4本 L=29～66m
アンカー工	頭部造成/切土・アンカー アンカー93本
排水トンネル工	トンネル延長/350m
横ボーリング工	削孔長/L=41～91m
仮設栈橋工	7,300m ²

現場の状況

対策工全体図（3Dモデル図）



12月初旬の仮設栈橋工施工状況



安全対策

本工事では、施工場所が広範囲に点在しているとともに、昼夜で施工を行う工事もあることから、多くの車両が運行しています。運転手への教育の徹底、通勤も含めた交通ルール遵守、一般車を優先した安全運転に努めて参ります。

仮設栈橋工では大型のクレーンを使用しますが、工事関係者はクレーン横の狭い通路を歩行する必要があり、クレーンとの接触が懸念されました。そこで、クレーン前後にインターホンを設置し、オペレータと相互合図することで、接触防止に努めました。

今後も、地域の皆様方にはご迷惑をお掛けしないよう注意して工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



地域貢献

2024年11月8日に開催された秋季職場対抗ビーチボール大会に参加しました。当日は白熱した試合となり、参加者、利賀地域の方々との交流することができ、大変盛り上がりしました。その他に上村地区そば祭りに参加しました。

今後、事務所宿舎を利賀地区内に設置計画中であり、地域の方々との交流を通じて利賀地区の活性化に貢献できればと考えております。

今後も地元の行事に積極的に参加したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



令和6年度利賀ダム工事用道路他維持修繕工事

完 成

【工期】令和6年4月1日～令和7年3月31日



中山工業株式会社

工事概要



現場代理人
新田 信彦

利賀ダム工事事務所管内一円を施工範囲として、各種工事が円滑に施工できるように各所で維持・修繕作業を行っています。

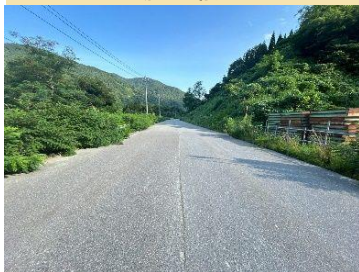
道 路 維 持

舗装工、標識工、進入防止工、除草工、
除雪工、雑工

現場の完成状況

【施工例 除草工】工事用道路の除草作業を行いました。

施工前



施工後



【施工例 除雪工】工事用道路の拡幅除雪作業を行いました。

施工前



施工後



工事の工夫点

施工範囲が利賀ダム工事事務所管内一円と、小規模な作業が広く点在しているので、作業員が現地状況と危険作業を把握できるように、現地にて危険予知活動を行い、作業の安全施工に留意しました。



工事完成の挨拶

令和6年4月より工事を開始して、利賀ダム工事事務所管内各所で工事を行いました。工事箇所では、地域住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。厳しい現場もありましたが、無事に工事を完成できましたことは、地域の皆様ならびに工事関係者の方々のご協力のおかげと思っています。

また、地域の皆様を通勤時や帰宅時にお見かけし、挨拶を取り交わす時に皆様の笑顔が印象に残っております。

令和6年度押場進入路その6工事

【工期】 令和6年3月7日～令和8年1月16日

中越興業株式会社



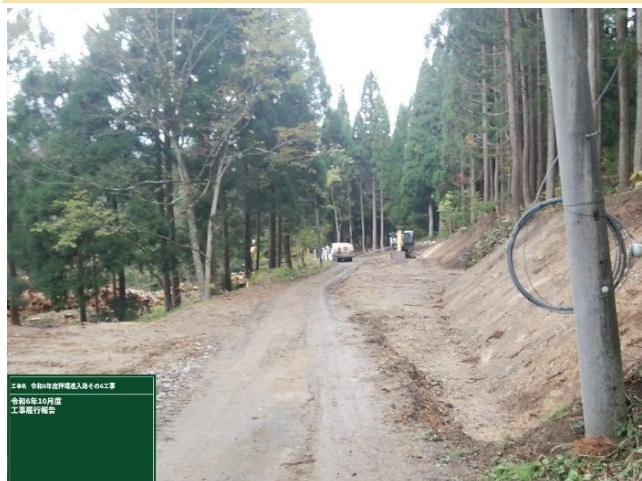
監 理 技 術 者
平 田 正 治

工事概要

本工事は、押場地区貯水池法面对策工事のため、工事用道路を整備する工事です。
市道押場線の入口部分では、約7.0mの道路幅員を確保するためジオテキスタイル補強土壁工を施工します。
ジオテキスタイル補強土壁工の終点部から工事用道路終点部へ向かって、仮橋・仮栈橋工を施工します。
また、国道471号側の法面の安定を図るため、鉄筋挿入工を施工します。
現場進捗状況として、昨年末に市道押場線の終点部の樹木の伐採を行い10月下旬までに掘削工を施工しました。
現在は、4月以降に施工するジオテキスタイル補強土壁工及び仮橋・仮栈橋工の準備・計画を行っています。

現場の状況

11月下旬の現地状況



起点側より終点側を望む

法面工	鉄筋挿入工 / 82組
擁壁工	ジオテキスタイル補強土壁工 / 1,620m ²
仮橋・仮栈橋架設工	仮橋・仮栈橋工 / 90m
押場線工事用道路 (終点部)	掘削工及び盛土工 / 160m

終点側より起点側を望む



安全対策

安全衛生管理活動として、新規入場者教育や危険予知活動、安全教育訓練のほか、全国労働週間行事や全国労働衛生週間行事を行っています。
安全管理を行うとともに、作業環境の改善を促すための労働衛生管理を行い、安全で安心な職場作りに努めています。



地域貢献

押場地区には、墓地が現在もあり、所有者の方々が時折お墓参りに来られています。
市道押場線の改築に伴い、墓地へのアプローチが難しくなるため、国道471号から墓地への人道を過年度に引き続き、今年度も整備しました。
押場地区の方々の要望に応えるとともに、利賀ダム建設事業及び工事へのご理解を深めていただければと思います。

令和6年度利賀ダム付替市道整備他工事

【工期】令和6年3月2日～令和8年1月20日



笹嶋工業株式会社

継続



現場代理人
安田 皓宏

工事概要

本工事は、南砺市利賀村岩渕地先において、利賀ダム完成後の湛水時に水没する市道仙野原細島線の付替整備を行う工事です。

令和6年4月下旬に工事に着手し、12月上旬までに新岩渕橋A1橋台周辺の法覆護岸工と市道舗装復旧及び小谷橋A2踏掛版工の施工が完了しております。

現在は積雪のため工事休止中となっておりますが、4月より兵谷橋付近の付替市道の整備と新岩渕橋A2橋台の施工を開始する予定です。

道路土工	掘削工／5,200㎡ 路体盛土工／1,050㎡ 路床盛土工／440㎡
橋台工	橋台躯体工／1.0式
法覆護岸工	コンクリートブロック工／1.0式
擁壁工	ジオテキスタイル補強土壁／133㎡
踏掛版工	踏掛版／8㎡
排水構造物工	排水工／80m 集水枳工／4基
仮設工	土留・仮締切工／1.0式 仮橋・仮栈橋工／1.0式 モルタル吹付工／1,338㎡

現場の状況

12月上旬の現地状況



A1橋台護岸工
復旧護岸工
市道舗装復旧
(施工完了)



小谷橋A2踏掛版工
(施工完了)



兵谷橋付近の付替市道整備状況
・掘削工
・路床盛土工、路体盛土工
・モルタル吹付工 等

安全対策

工事着手前に利賀村漁業協同組合より、岩渕橋周辺は釣りのスポットとなっており、平日でも釣りを楽しむ方がおられるとの情報を得ました。本工事は岩渕橋周辺が主な施工箇所であり、市道仙野原細島線の道路幅員の半分を掘削する護岸工事や市道仙野原細島線の真上での掘削作業(切土)が計画されていたため、掘削穴への転落や落石等の第三者災害防止として市道仙野原細島線及び市道岩渕北島線を通行止めとさせていただきました。

また、通行止め箇所付近には、千束ダム放流警報施設や農業集落排水施設があったため、第三者に分かるように案内看板も設置し、第三者災害防止に努めました。



地域貢献

令和6年7月12日には「利賀村地区職場対抗ソフトボール大会」に参加させていただきました。

また、現場付近の道路である市道仙野原細島線と市道岩渕北島線を通行止めとさせていただいておりましたので、通行止め箇所付近の草刈り作業を行いました。利賀地域が盛り上がるよう、地域のイベントに積極的に参加したいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



令和6年度北豆谷地区進入路その3工事

【工期】 令和6年3月8日～令和7年9月30日



株式会社 岡部

工事概要



現場代理人
原田 隼輔

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、利賀ダム貯水池斜面对策等のために北豆谷地区に進入路を整備・造成する工事です。

今年度については仮栈橋（約93m）の施工が完了し、道路土工については13,000m³のうち5,000m³の掘削・土砂運搬が完了しました。

来年度は令和7年4月中旬から作業を開始する予定としています。引き続き、残りの道路土工の掘削を行っていきます。掘削完了後、排水構造物、舗装工に着手していきます。工事完成は令和7年9月下旬を予定しています。

道 路 土 工	掘削工／13,000m ³ 土砂運搬／13,000m ³ 法面整形工／2,000m ²
舗 装 工	アスファルト舗装工／1式
排水構造物	プレキャストU型側溝／1式 自由勾配側溝／1式 現場打ち集水桝／3箇所
道路附属施設工	土留工／1式
仮橋・仮栈橋架設工	鋼管杭／33本 仮橋下部／63t 仮橋上部／123t 覆工板／605m ² 仮設高／185m

現場の状況

12月上旬の現地状況



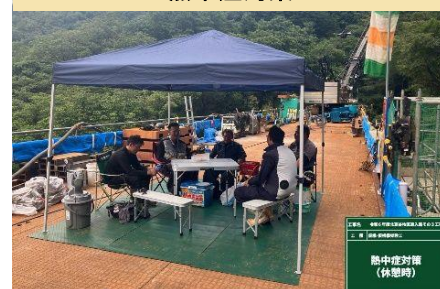
道路土工施工完了箇所（今年度）



安全対策

仮栈橋の作業は7月～10月の期間で行いました。特に8、9月は30℃を超える日が多く、直射日光により仮栈橋上の覆工板が熱を持ち、作業箇所が外気温よりも高く感じる状態でした。炎天下での作業になるため、熱中症対策として、覆工板の熱を遮断するのに薄手のゴムマットを使用しました。またミスト付き扇風機、テント、クーラーボックス、ベンチを用いて快適に過ごせる対策を行いました。そういった対策もあり、熱中症の症状や体調不良者が誰も出ることがなく、仮栈橋作業を終えることができました。また、道路土工による土砂運搬等で接触による事故などがないように、交通ルールを守り、安全運転を遵守して工事を進めていきたいと思ひます。

熱中症対策



地域貢献

7月にソフトボール大会に参加させていただきました。地元の方々のプレーに圧倒されました。同じチーム内の工事受注者との親睦も深めることができ、印象に残る行事となりました。

今後このような行事等があれば、積極的に参加させていきたいと思ひておりますので、よろしくお願いいたします。

ソフトボール大会



工事名 令和6年度利賀地区盛土整備工事

完 成

【工期】令和6年3月15日～令和7年1月20日



株式会社藤井組



現場代理人
西部 哲也

工事概要

本工事は、利賀ダム供用時、湛水箇所となる南砺市利賀村下島地先において、利賀ダム建設事業に伴い発生する土砂の受入地の基盤整備を目的とした、延長300m、直高4.0m、最大幅90m、盛土量68,700m³の盛土工事です。

4月下旬より過年度工事の残土処理、支障木の伐採を行いました。6月中旬より、主要工種である路体盛土に着手し、令和7年1月に無事、工事完成致しました。

道 路 土 工	路体盛土 (ICT)	V = 68,700m ³
	掘削	V = 31,500m ³
残 土 処 理 工	盛土内排水	1 式
	土砂等運搬	V = 67,800m ³
	掘削	V = 42,400m ³
	土砂等運搬	V = 43,200m ³
護 岸 基 礎 工	プレキャスト基礎	L = 300m
	法覆護岸工	A = 2,452m ²
	地下排水工	1 式

現場の状況

施工前



上空より撮影



起点側より撮影



終点側より撮影

施工後



上空より撮影



起点側より撮影



終点側より撮影

工事の工夫点

本工事は大型の重機作業、10tダンプトラックによる土砂運搬が主な工事であったことから、重大事故の発生リスクが懸念されました。

安全対策として、作業の打合せ時にCIMデータを活用し、視覚的に作業手順、運搬経路、安全施設設置箇所等を現場職員、現場作業員全員が把握できるよう取り組みました。また、土工事作業エリア内に極力人員が立入ることの無いよう、バケツスケールを使用した積載重量の管理、ICT建機を全面に活用した施工を行い、作業員の安全確保、また手元作業員が不要となることによる省力化を図ることができました。

工事完成の挨拶

令和6年4月下旬より工事開始し、令和7年1月にすべての工事が完了致しました。現場や工事用道路において大型重機、土砂運搬車両が錯綜する中、無事故、無災害で工事完成することができましたことは、地域住民の皆様ならびに工事関係者の方々のご協力のおかげだと思っております。また、地域の皆さんと市道の道路愛護活動、新そばを味わう祭りで会場スタッフとして参加できたことが印象に残っています。短い期間ではありましたが、誠に有難うございました。

工事名 令和5年度大洞谷・喜三郎建設発生土受入地整備工事

【工期】 令和6年3月9日～令和7年1月20日

砺波工業株式会社

完 成



工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷(大洞谷)地内と、百瀬川(喜三郎谷)地内において、利賀ダム事業で発生する土砂の受入地を整備する工事です。

10月より、喜三郎工区にて土質改良、路体盛土、小段排水設置、法面保護のため植生マットの敷設を行いました。11月に施工が完了しました。

現場代理人

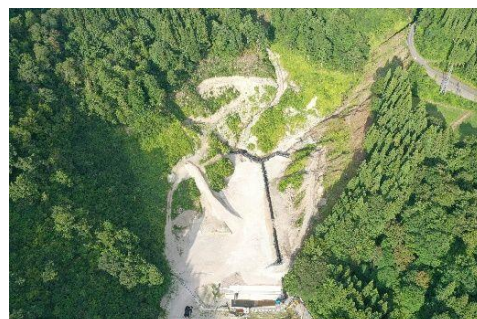
小林 稜典

現場の完成状況

施工前



施工後



大洞谷工区

道路土工 1式
排水構造物工 1式
構造物撤去工 1式
準備工 1式
仮設工 1式

喜三郎工区

道路土工 1式
地盤改良工 1式
法面工 1式
排水構造物工 1式
舗装工 1式
構造物撤去工 1式
仮設工 1式



工事の工夫点

本工事では、盛土形状が複雑な箇所があり重機オペレータから目的物のイメージを掴みづらいとの意見を頂きました。そこでBIM/CIMを活用し完成イメージの共有を行いました。3Dモデルを現場に投影することができるので作業手順や危険箇所をわかりやすく説明することができました。また、センター杭や丁張の設置が不要となり効率的に施工を行うことができました。



工事完成の挨拶

大洞谷工区・喜三郎工区ともに土砂運搬作業のため多くのダンプトラックが利賀村内を走行しておりましたが、降雪前に無事施工を完了することができました。地域の皆様、工事関係者の方々にはご理解とご協力いただいたことに感謝申し上げます。

令和5年度押場進入路その7工事

【工期】 令和6年7月1日～令和7年11月28日



松本建設株式会社



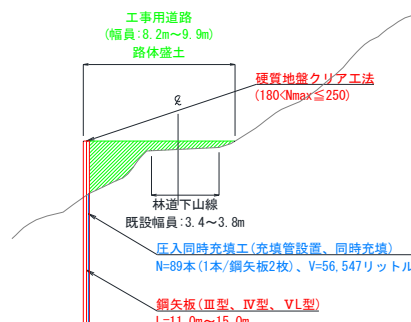
現場代理人
監理技術者
音羽 信孝

工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先において、林道下山線の進入路を拡幅造成する工事で、施工延長は、約150mとなりますが、12月までに約50mの施工が完了しました。

現場は、林道下山線を他工事用車両が共用しており、他の工事用車両と調整を図り、利賀ダム工事関係者に協力して頂きながら施工を進めています。

現在、硬質地盤クリア工法とジオテツ工法による同時充填工法で資機材の配置を計画しており、4月から準備作業、5月から本格的に鋼矢板の圧入作業と充填作業を再開していく予定です。



現場の状況

12月上旬の現地状況



道路土工	路体盛土 / 2,000m ³
土留工	土砂等運搬・積込 / 2,200m ³
	鋼矢板(Ⅲ型、L=11.0m) / 18枚
	鋼矢板(Ⅳ型、L=11.5m) / 17枚
	鋼矢板(Ⅳ型、L=12.0m) / 21枚
	鋼矢板(Ⅳ型、L=12.5m) / 33枚
	鋼矢板(Ⅳ型、L=13.0m) / 29枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=12.0m) / 53枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=12.5m) / 7枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=13.5m) / 39枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=14.0m) / 85枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=14.5m) / 19枚
	鋼矢板(Ⅴ型、L=15.0m) / 23枚
	油圧式圧入引抜機据付・解体 / 1式
	支給品運搬 / 376.1t
充填工	充填管設置 / 89本
	同時充填 / 56,547ℓ
舗装工	碎石舗装 / 2,120m ²

安全対策

本工事は、斜面上に鋼矢板を圧入して林道下山線を拡幅する工事ですが、他工事用車両が共用した状態で作業を進めるため、本工事の施工機械と接近することが多く、接触災害の防止対策を図りながら施工しています。

施工中の林道下山線には、視認性が良いカラーコーンの設置や徐行や作業中であることを促す明示を行い、敷鉄板の端部にゴムマットを設置して、工事用車両のタイヤ損傷防止や作業員のつまずき転倒防止を図りながら、無事故・無災害で工事を進めています。

地域の皆様方には、ご迷惑をお掛けすることの無いように工事を進めて参りますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

地域貢献

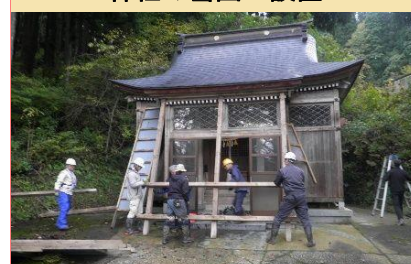
令和6年11月3日に、利賀村北豆谷地区の神社と集会所の雪囲い設置と黒パイプで水を引き込むための集水桝の清掃を行う行事に参加させて頂きました。今年は大雨で、11月2日から11月3日に変更しましたが、当日は天候に恵まれ晴天の中での作業でしたが、大変な作業を実感しながら地元の方々との交流を図れたことが良かったと思います。

来年も継続工事となりますので、地域行事やイベント等があれば、参加させて頂きたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

カラーコーン、徐行・作業明示



神社の雪囲い設置



工事名:令和6・7年度岩渕地区橋梁上部工製作架設工事

【工期】 令和6年12月18日～令和8年1月20日



川田工業株式会社



現場代理人:金田和樹

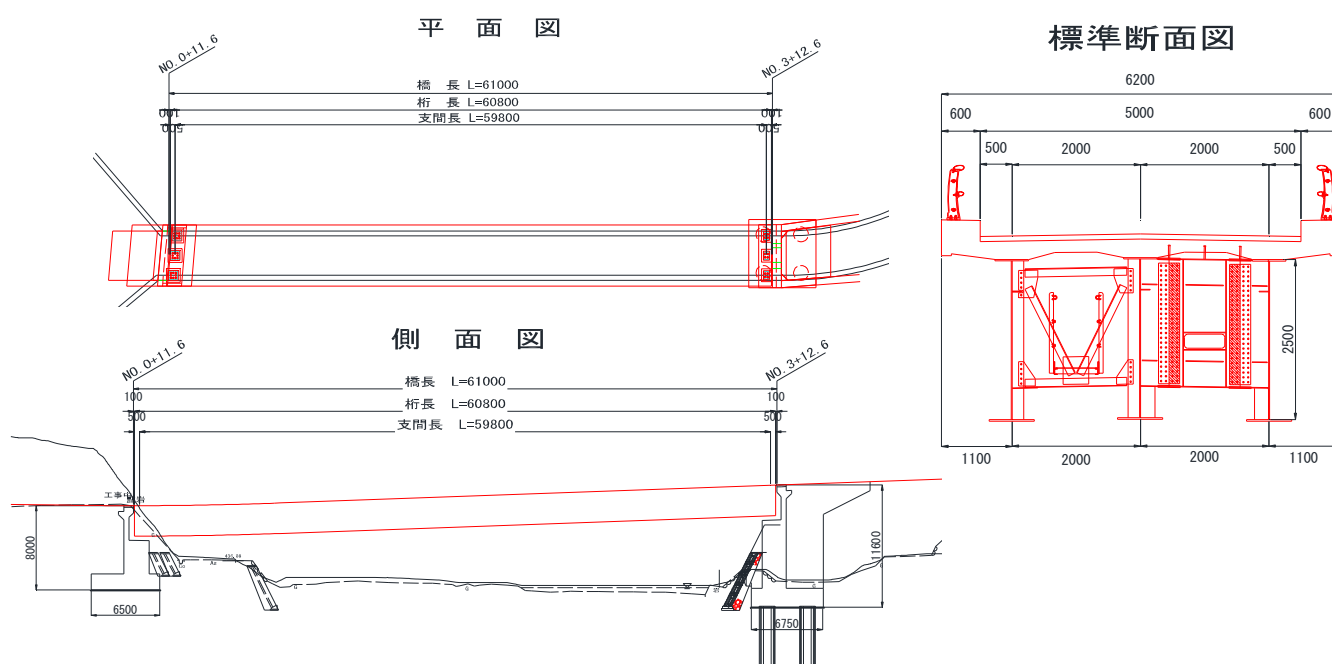
工事概要

本工事は、南砺市利賀村岩渕地先に架かる、橋梁上部工の製作及び架設工事でトラッククレーンバンド架設工法で架設する「単純合成鈹桁橋」です。
今年度は工場製作に着手し、次年度以降に製作・架設を行います。

橋 長 61.000m
総 幅 員 6.20m
支 間 長 59.8m

鋼 重 154.9t
橋梁形式 単純合成鈹桁橋
架設工法 トラッククレーンバンド架設

橋梁一般図



現況写真



A1橋台
完成済



A2橋台
未完成



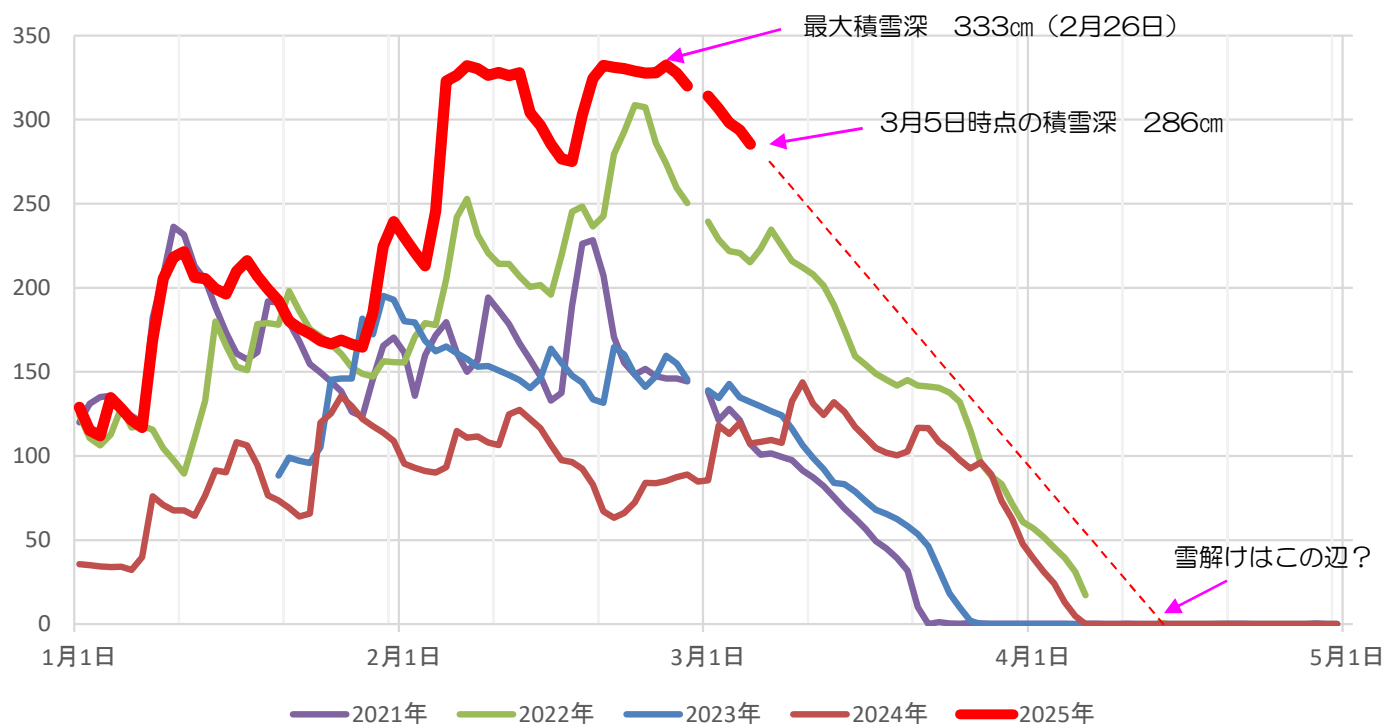
5. トピックス

～ 今年の積雪は・・多かったですね ～

利賀ダム工事事務所では、工事の施工計画立案のため、雨量、水位、積雪等の気象観測を行っています。今年は積雪が多かったことから、利賀ダムで観測した気象データでどのくらいの雪が降ったのか比べてみました。

令和7年3月5日のデータですが、今年の積雪は、観測開始の2012年から観測史上1番目の積雪で333cmでした。観測開始から昨年までの最大積雪深は309cmですので、今年は24cmも多かったことになります。全国値と比較してもトップクラスですね。

●過去5年間の積雪深グラフ（利賀ダム工事事務所観測）

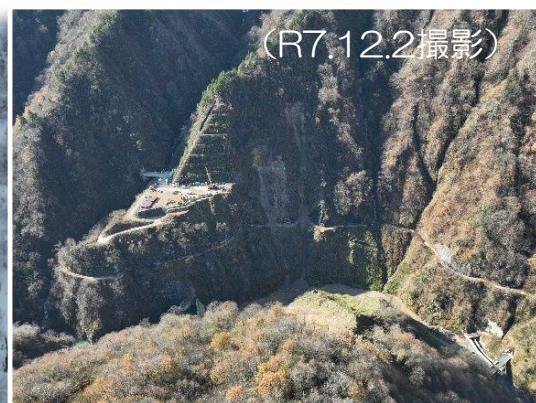


都道府県	市町村	地点	3月5日 観測値	昨年までの 観測史上1位の値		統計開始年	備考
			cm	cm	年月日		
富山県	南砺市利賀村	利賀市民センター屋上	286	309	2022/2/23	2012年	2025最大積雪深 333cm (2025/2/26)

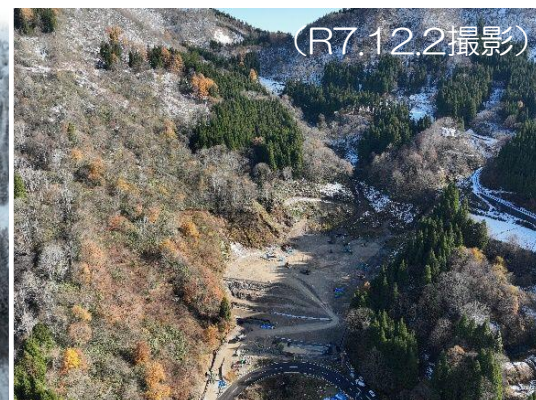
全国観測値ランキング（令和7年3月5日）現在 気象庁HPより

順位	都道府県	市町村	地点	3月5日 観測値	昨冬までの 観測史上1位の値		統計開始年	備考
				cm	cm	年月日		
1	青森県	青森市	酸ヶ湯（スカユ）	444	566	2013/2/26	1979年	
2	新潟県	中魚沼郡津南町	津南（ツナン）	308	419	2022/2/24	1989年	
3	新潟県	魚沼市	守門（スモン）	300	463	1981/2/9	1980年	
4	山形県	西村山郡西川町	大井沢（オオイサワ）	263	348	2000/3/1	1979年	
5	山形県	最上郡大蔵村	肘折（ヒジオリ）	262	445	2018/2/13	1982年	
6	福島県	南会津郡只見町	只見（タダミ）	245	341	2013/2/25	1979年	
7	新潟県	十日町市	十日町（トオカマチ）	223	391	1981/2/28	1980年	
8	福島県	南会津郡檜枝岐村	桧枝岐（ヒノエマタ）	222	339	2015/2/15	1982年	
9	新潟県	南魚沼郡湯沢町	湯沢（ユザワ）	217	358	2006/1/28	1982年	
10	群馬県	利根郡みなかみ町	藤原（フジワラ）	213	301	2006/1/26	1989年	

利賀ダム工事現場周辺の積雪状況



赤松谷周辺の積雪状況 (R7.2.14撮影)



大洞谷周辺の積雪状況 (R7.2.14撮影)

利賀ダム工事現場周辺の積雪状況



下島周辺の積雪状況① (R7.2.14撮影)



下島周辺の積雪状況② (R7.2.14撮影)

～ 元利賀村村長 米澤博孝氏が 「ダム建設功績者表彰」を受賞されました ～

令和6年11月28日（木）、東京日本橋のロイヤルパークホテルにて一般財団法人日本ダム協会による「第44回ダム建設功績者表彰式」が執り行われ、利賀村最後の村長であられた米澤博孝氏（令和5年7月13日ご逝去。享年80才）が特別表彰されました。

「ダム建設功績者表彰」は、ダム等の建設事業の推進に著しく功績のあった個人又は団体に贈られる賞で、昭和56年度より実施されています。

米澤博孝氏は、平成11年利賀村村長就任と同時に利賀ダム建設促進期成同盟会副会長に就任され、平成14年の「利賀ダム建設事業に伴う損失補償基準」締結、平成15年の水没家屋移転補償完了など、利賀ダムの地域関係者と起業者のパイプ役として精力的な調整に尽力されました。利賀ダム建設事業の促進に多大な貢献を果たされたことから、その功績が評価され、今回特別表彰を受賞されました。



第44回ダム建設功績者表彰式（於、都内）



左：日本ダム協会押見会長
右：米澤博孝氏ご家族（米澤秀起氏）

～ 上村そば会に参加しました ～

令和7年2月1日（土）に、上村公民館にて、地元主催のそば会が催され、お誘いを受けた利賀ダム工事事務所から事務所職員が参加しました。

そば会は各家庭でそば粉を持ち寄り、「そばがき」を作っていたことがルーツだそうです。そば打ち経験し、伝統的な山間の生活が垣間見える、貴重な機会となりました。



こねる作業をして・・・



のばして・・・



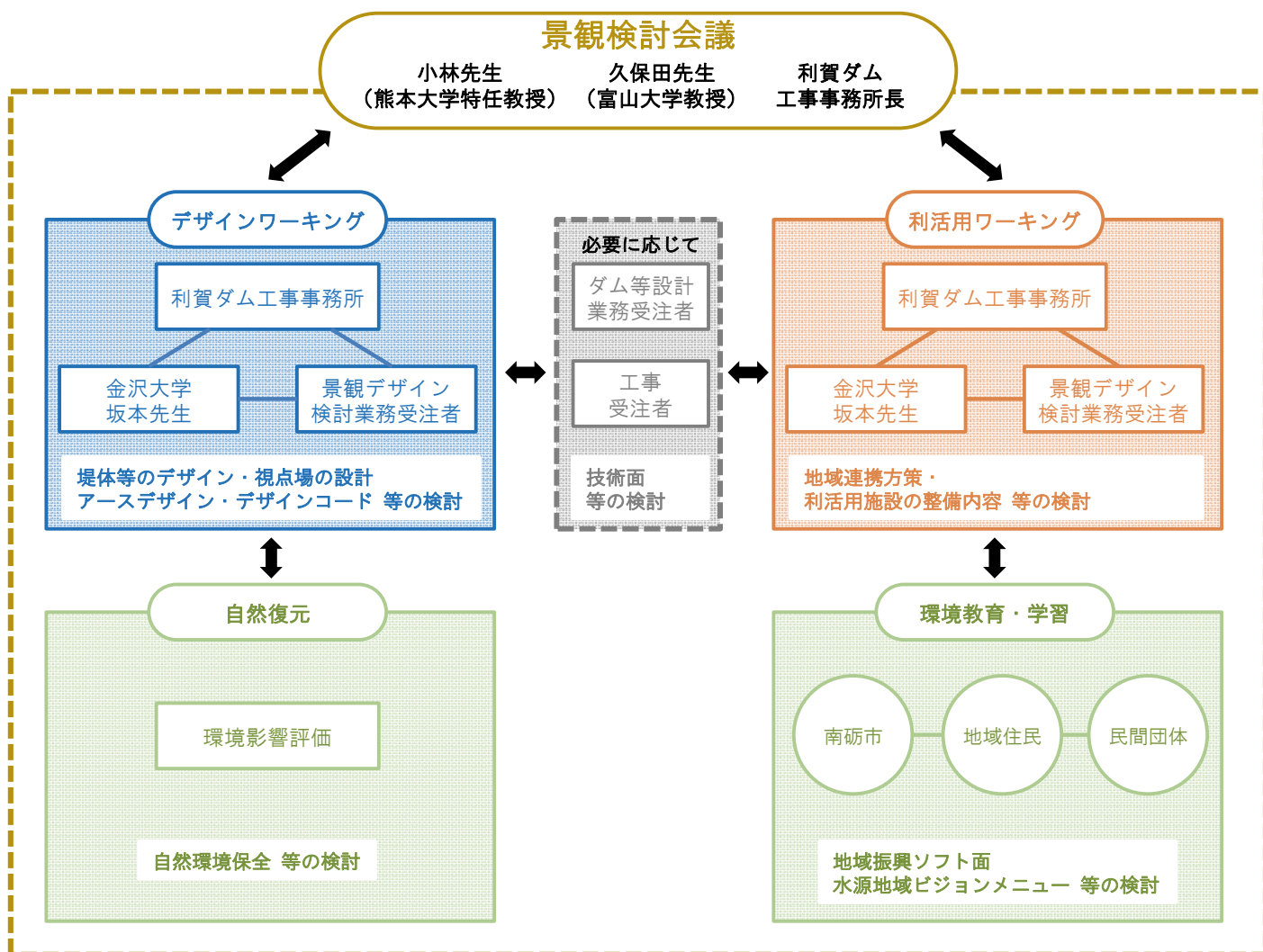
完成！！

～ 景観検討会議・デザイン／利活用ワーキング はじめました ～

令和6年8月に利賀ダム建設事業における景観に関わる設計・施工について確認し、助言する事を目的とした『景観検討会議』を立ち上げました。

景観検討会議は、ダムを活用した地域振興方策『水源地域ビジョン』を策定するための素材提供の役割も担っています。

景観検討会議の枠組み



第1回デザインワーキング（令和6年10月3日）



利活用ワーキング準備会（令和6年11月25日）

～普段は水をためないダム（洪水調節専用）

足羽川ダム（近畿地整）の建設現場を見学!～

令和6年11月21日、利賀ダム工事事務所技術系職員4名により福井県池田町で近畿地方整備局が建設中の「足羽（あすわ）川ダム」の見学を行いました。

現在、足羽川ダムは堤体コンクリートの打設中であり、コンクリート打設前の基礎岩盤の状態を確認している状況や打設に必要な仮設備、コンクリートの投入や締固めといった打設状況、そしてダムの管理に必要な監査廊の内部などを見学したり、足羽川ダム工事事務所職員との意見交換会を行いました。意見交換会では施工の苦労話や施工者とのコミュニケーション方法などについてアドバイスをもらうことができました。

足羽川ダムについて

足羽川ダム完成イメージ



足羽川ダム提供資料より

場所: 福井県今立郡池田町小畑地先
形式: 重力式コンクリートダム
目的: 洪水調節 ⇒ **洪水調節専用!**
(足羽川、日野川、九頭竜川の洪水防御)
工期: 昭和58年度～令和11年度
事業費: 約2,500億円
足羽川ダムの本体打設は今年度でほぼ終了。

構造と特徴

流水型ダムと貯留型ダムの比較

ダムの種類	流水型ダム(足羽川ダム)	貯留型ダム
イメージ図		
洪水調節	平常時は水を貯めずに、川の水をそのまま流し、洪水時にのみ、一時的にダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流します。	平常時は流水型ダムと同じように、ダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流しますが、平常時は利水のための水が貯まっています。

ダムは常に水が貯まっている印象だったので、普段は水を貯めないと聞いたとき驚きでした!!
(N技官談)

平常時は水を貯めない洪水調節専用の流水型ダム

参加したN技官(今年度、新規採用)の感想

重力式コンクリートダムのコンクリート打設工法である「**RCD工法**」や清水建設が開発した「**プレミアムベルコン**」など、これまで資料でしか見ることはできなかったもので、実際にこの目で見ることで想像と違う部分が明確になり、とても勉強になりました。

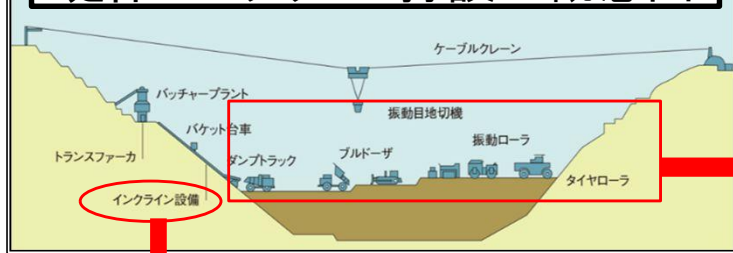
また、施工中の監査路やたまたま岩盤検査にも立ち会えたので自身の運の良さを感じるとともにダムはこうした小さな苦労の積み重ねによって建設されていることを知りました。近場で建設中のダムということでまた伺う予定なので、今後もダムについて知識を深め、今回とは違う視点、疑問を持って見学できるようにしたいです!



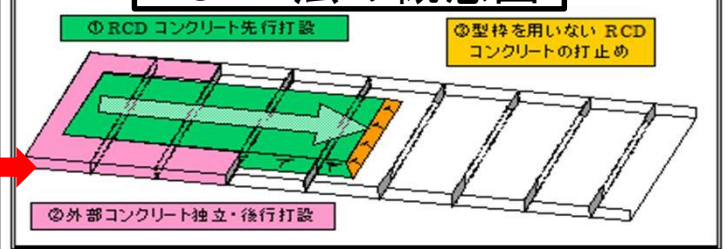
RCD工法とは

RollerCompacted Dam-Concreteの略。コンクリートダム of 合理化施工法としてわが国で開発されたもので、セメントの量を少なくした超硬練りのコンクリートをブルドーザで敷均し、振動ローラで締め固める工法です。

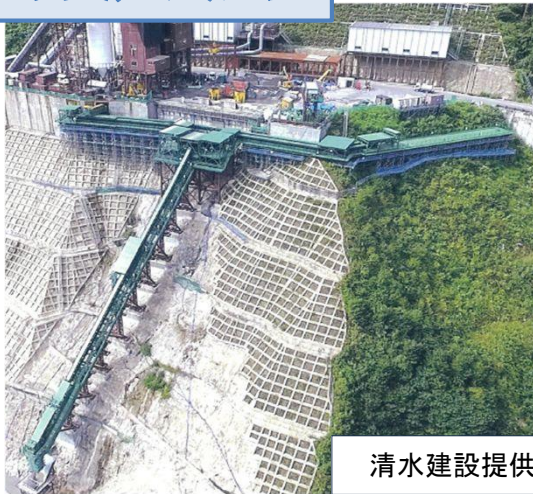
堤体コンクリート打設の概念図



RCD工法の概念図



プレミアムベルコン



清水建設提供資料より



傾斜があるところでも、ダムコンクリートを高速運搬できます！

利賀ダムも使う予定です！

監査路を探検！



硬化中のコンクリートから発生する熱で監査路内は蒸し暑かったです。



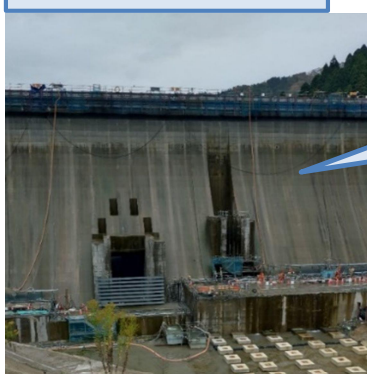
岩盤確認



ダムが乗っても壊れない岩盤か検査します。

ハンマーでたたいて確認！
金属音だと強く良い岩です！
脆い部分はスプレーで印を残します。

意見交換会では・・・



苦労話

土木工事と機械設備工事(ゲート設備等)の工程調整が難しい...今は受発注者で月2回の定例ミーティングを開催してます！！

アドバイス

受発注者間でLINEのようなトークアプリを導入してはどうですか？
どこでも現場からの声や写真で施工箇所を確認することができます！！

利賀の現場までは約1時間、タイムロスが大きいです.....

6. あとがき



利賀トンネル（1工区）工事 施工分界点到達（3月4日撮影）

「利賀の水音」も出版回数を重ね、今回で44回目の発刊となりました。

今年の2月は大寒波の到来で、昨年とは打って変わって、雪かき三昧となりました。利賀地域でも例年より積雪が多く、春先の雪解けの遅れから利賀での工事は除雪作業をしてから工事着手をしていくことになりそうです。

引き続き、利賀ダム工事事務所では、地域の皆様とともに、職員、工事・業務受注者一同、安全第一で利賀ダム建設事業を進めて参りますので、今後ともよろしくお願いします。

▼「利賀の水音」について、お気づきの点等ありましたら、下記までご連絡下さい。

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会



■事務局：利賀ダム工事事務所 工事課

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-5-10

【TEL】0763-33-4799 / 【FAX】0763-33-0271

【E-MAIL】toga@hrr.mlit.go.jp

■ございしょ利賀（監督員詰所）

〒939-2507 富山県南砺市利賀村171 利賀市民センター内

◆利賀ダム工事事務所ホームページにて工事の進捗状況を発信中です◆

【URL】 <https://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>

引き続き地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※本誌に掲載した記事・写真等を許可無く無断で複写・転用することを禁じます。

